

環境経営 システム

エコアクション21



2022年度（R4年6月～R5年5月）

有限会社 塚本興業

作成日：令和5年10月1日

作成者：後藤康平



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

環境方針

【基本理念】

有限会社塚本興業は、廃棄物の処理業務を行う上で、より快適な地域環境を常に創造しつつ地域に暮らす人々の身近な生活環境を守り、次世代へ継承することを企業の使命とし社員一人一人が地域環境の保全に心がけ 安全・迅速・的確にサービスの提供を行い、創意工夫と行動力をもって循環型社会の構築へ貢献する企業活動を推進します。

【環境方針】

1. 地球環境の保護のため、省資源・省エネルギーの推進をします
 - ▼水資源の節約に努めます（雨水を有効利用する）
 - ▼収集運搬車両のエコドライブを実践し、CO₂排出の低減に努めます
 - ▼こまめに電気を消し、必要以上の電力を使用しない様、省電力に努めます
2. 廃棄物のリサイクル率の向上に努めます
3. 地域社会貢献活動をします
4. 環境関連法規を遵守します
5. 廃棄物の処理業務を行う上で、周辺環境の保全に努めます
6. 従業員の環境教育を行います

平成 19 年 4 月 2 日制定
平成 26 年 9 月 1 日改訂
有限会社塚本興業
代表取締役 塚本貴生

環境への取り組みの自己チェック評価

1.事業活動へのインプットに関する項目

1) 省エネルギー・新エネルギー使用の拡大

▼アイドリングストップ・エコドライブ運転の実施により、各車燃費の向上に努めている

▼ドライブレコーダーでの車両管理

▼雨水利用で節水

2) 省資源・グリーン購入

▼コピー用紙の両面使用・裏面が使える用紙についてはメモ帳などとして再利用している

▼グリーン表示やエコマーク表示のあるものを購入

▼窓側ではブラインドをうまく利用し、日光を取り入れ自然光を利用し、必要最小限の電気を使用している

2.事業活動からアウトプットに関する項目

1) 二酸化炭素の搬出制御・大気汚染の防止

▼空調は天気や気温をこまめに見て、適度な温度・頻度で使用する

2) 化学物質対策

▼屋外での除草剤の使用は極力控える

▼フロンガスの適正処理に全量取り組む

3) 廃棄物の排出制御・リサイクル適正処理

▼両面コピーの徹底・プレビューで確認し調整してから印刷・裏面の使用・封筒再利用

▼分別ボックスを置き、リサイクル可能な廃棄物を分別する

▼シュレッダーは機密文書廃棄時にのみ使用する

▼マニフェストを発行、適正処理

4) 輸送に伴う環境負荷の低減

▼新車購入時には排出ガス低減車・燃費のいいものを選ぶ

▼最大積載量に見合った輸送ルートを考える

▼回収現場周辺地域において、交通に障害のないように考慮する

▼アイドリングストップや急発進、急加速を避け環境や人に優しいエコ運転を心がける

▼整備点検をこまめにし、車両を大切に使う

3.環境経営システムに関する理由

1) 環境保全のための仕組み・体制の整備

- ▼講習などから最新情報を入手し、法令を遵守し変化に対応出来る体制をつくる
- ▼各役割の明確化を図り、組織作りに力を入れる
- ▼取引先へ分別・排出の指導を行う（ペーパーの配布等）

2) 環境教育・環境保全活動の推奨等

- ▼従業員への環境教育に努め、一人一人が意識して行動するよう心がける
- ▼講習会やセミナーへの参加を従業員に積極的に呼びかける

3) 情報提供・社会貢献・地域の環境保全

- ▼地域住民との交流を取り入れ、地域貢献のために尽力する
- ▼地域の奉仕活動に参加、会社独自で奉仕活動を行う

4.収集運搬に伴う環境負荷の低減

1) 車両購入時の選択にあたっての配慮

- ▼車両購入の際、排ガス規制の対象車を優先して購入する

2) 収集運搬システムにおける環境配慮及び効率化

- ▼回収ルートの見直し
- ▼作業時間を短縮し効率化を図る
- ▼事務所・回収作業員同士の連絡を密にして、回収ミスを無くし燃料の節約にも努める

購入電力削減の取組

2022.5

電気使用量が一番多い事務所の電気使用量削減の為、事務所のエアコンと扇風機の分解清掃の実施。

作業場にエアコンがないため窓を開けてスポットクーラーを使って対策をとっていました。外作業後の休憩時間、短い休憩時間もエアコンの温度を低めに設定し休憩してました。電気削減の観点から、対策として建物の壁に遮熱塗料にて塗装しました。5月までのデータとなるので、作業場の購入電力としての数字は、去年と大きくは変わらないですが、来期以降は設定温度を高く設定するほか、使用頻度を少なくできれば、更なる購入電力を減らせることは見込まれると予測されます。



環境美化活動

2022~2023

当社前歩道を中心に美化活動を実施しました。

小学生の通学路になっている当社前の歩道は、温暖化の影響もあるのか年々道路沿いの雑草の成長が早いと感じます。その雑草を避けて道路に出てしまうなど危険な場面も見られるので重要な活動となっています。



緊急時対応訓練

2022.12

近年、危険ごみが原因で起こる車両火災が社会問題となっています。

新型コロナウイルスによる自宅待機の影響もあり、多くの家庭が自宅の片付けをし、スプレー缶やリチウムイオン電池などの危険ごみが可燃ごみの中に混載されているなど分別不十分のゴミが多く見受けられました。そのような事象を受け、本年度は多くのゴミが排出される年末年始直前に危険ごみ投入の事前回避対応と発火した場合において、消防署にご協力を頂いて車両火災時の対応訓練を実施する予定でした。志太消防本部予防課へ相談した所、パッカー車が炎上した場合に車載消火器で初期消火をする事は、大変危険を伴う為、従業員の安全又は周辺住民の安全を守るにはその場から離れるよう口頭で指導されました。

このような事から、予定していた訓練ではなく危険ごみについて実例を交えての話し合いと消火器を使用した事がない新入社員を対象とした消火訓練を実施しました。



年末の繁忙期に向けて、社員同士注意事項を確認。
テーマは「回収時の危険ごみ発火の対応について」



実際起こったパッカー車の火災動画を視聴。
この後、現場での対応手順を全員で確認。



今回のテーマにおいては、初期消火を行うのは危険との当局の判断でしたが、各車両車載消火器がついている為、消火器を使用したことがない新入社員を対象として消火器の使用手順を確認。

地域貢献活動

2022.8.11

空き家0に

空き家を0にすることを目標に、自治体と協力して、市からの依頼があれば、すぐに片づけをさせて頂いています。

人が住めるように清掃させて頂き、片付けできない、困難な方と協力し、家の片付けを行います。空き家を人が住める状態にするお手伝いをさせて頂き、空き家問題と向き合う・片付けたものをただ廃棄するのではなく、リサイクル・リユースといった形でもお手伝いをさせて頂き3Rにも積極的に取り組んでいます。リユース品としては、空き家バンクやマルシェ等のイベントで出品させて頂き、ゴミの減量に積極的に取り組ませて頂いています。依頼があれば、個人宅にも定期的に回収させていただく活動もやらせていただいています。



2023.4.19

藤枝市認知症の人に優しいお店・事業所認定取得

認知症の人に対する接客やサポーターの養成の協力など、高齢者福祉や地域福祉についての積極的な取り組みを行う事業所、広く市民に周知することにより、認知症支援ネットワークの構成や市全体の高齢者支援体制の向上を図る事を目的とし認定を取得。認知症の人にやさしい事業所“みんなで支える地域の笑顔☆地域包括ケア藤枝プロジェクト”に取り組んでいます。

